

株式会社イガ再資源

2024 年度 環境経営レポート

(対象期間 2024 年8月1日～ 2025 年7月31日)



エコアクション21

® 環境省

認証番号 0007777

作成日： 2025年9月1日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	7
環境経営目標及びその実績	7
環境経営計画の取組結果とその評価	8～10
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	11
緊急事態対応訓練	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	12
これまでの環境活動の紹介	12



食品リサイクルのリーディングカンパニーをめざす!

株式会社 イガ再資源

- 産業廃棄物処分業許可 [中間処理] 三重県:第02428121472号
 - 産業廃棄物収集運搬業許可
 三重県:第02418121472号 愛知県:第02300121472号 岐阜県:第02100121472号
 滋賀県:第02500121472号 京都府:第02600121472号 大阪府:第02700121472号
 兵庫県:第02804121472号 岡山県:第03300121472号 長野県:第2009121472号
 - 一般廃棄物収集運搬業・処理業及び浄化槽清掃業許可 [業種分類:処分] 伊賀市
 - 再生利用事業登録:24-6-1 ●再生利用事業計画の認定
 - 飼料製造業者 ●飼料販売業者 ●エコアクション21 認定・登録番号:0007777
 - 近畿農林水産関連企業環境対策協議会 会員
 - 東海地区農林水産関連企業環境対策協議会 会員
- 〒19-1426 三重県伊賀市西之澤1384番地の6(本社) 〒19-1426 三重県伊賀市西之澤1486-6(工場)
- TEL. **0595-45-8223** FAX.0595-45-8227
- <http://iga-saisigen.com> ✉ saisigen@ict.ne.jp

I. ごあいさつ

株式会社イガ再資源は、食品関連企業の製造工程等から発生する食品残さを、家畜の飼料にリサイクルする企業です。平成18年の設立以来、リサイクル活動及び養豚業を通じ現実的な循環型社会の構築を目指し取組んでまいりました。今後はさらに、エコアクション21に基づく環境経営システムを構築し運用開始することによって、地球環境に優しい企業として活動してまいります。

また、社内におきましても環境意識を高めるとともに、継続して環境負荷の低減に取り組んで行くことを宣言します。

[トップへ](#)

環境経営方針

<環境経営理念>

当社は、産業廃棄物中間処理業（飼料化）及び養豚業を通じて食品リサイクル・ループの実現、そしてその継続を目標としており、環境に直結した事業活動の中で最も現実的に循環型社会を構築できる取組であると確信しております。また、グループ会社による養豚業によって一次産業の発展、食品自給率の向上に貢献できるものと考えております。当社は、これらの取組によって更なる環境保全の継続的改善に努めていく事を宣言します。

<環境保全への行動指針>

1. 事業活動を行う上で、CO₂の削減・廃棄物の抑制・公害防止を考慮し、推進します。
2. 環境関連法規等・条例及び、当社が同意するその他の要求事項を厳守します。
3. 地域密着型の事業活動を行うとともに、地域の環境保全に貢献できるように努めます。
4. 廃棄物の3R（原料・再利用、再生利用）を推進します。
5. 電力・化石燃料の使用に伴う、二酸化炭素排出の削減に努めます。
6. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
7. 老朽設備の更新に努めます。
8. 全従業員に、環境経営方針の周知徹底を図ります。

制定日：2011年8月1日

改定日：2017年4月1日

改定日：2019年8月1日

改定日：2020年8月1日

改定日：2022年8月1日

代表取締役社長

高野 丈大

II. 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社イガ再資源
代表取締役社長 高野 丈大
- (2) 所在地
本社事務所 三重県伊賀市西之澤1384番地の6
西之澤工場 三重県伊賀市西之澤1486番地の6
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 工場長 服部 太栄 TEL：0595-45-8223
担当者 福永 百杏 TEL：同上
- (4) 事業内容
産業廃棄物処分業（中間処理及び収集運搬）、飼料製造・販売業
- (5) 事業の規模
法人設立 平成13（2001）年5月30日
資本金 3200 万円
売上高 26,680 万円（対象期間：2023年8月1日から2024年7月31日）

	本社	西之澤工場
従業員	5名	8名
敷地面積	3,709㎡	9,046㎡
床面積	473.7㎡	1957.49㎡

受託した産業廃棄物の処理量

収集運搬量	493 t		
中間処理量	6,958 t	うち再資源化量	6,958 t
最終処分量	0 t		
中間処理後の産廃の処分量	0 t	うち再資源化量	0 t

主要車両及び重機

車種	台数	備考
10 t タンクローリー	2 台	産業廃棄物収集運搬車両：バキューム式・ギアポンプ式
10 t トラック	1 台	産業廃棄物収集運搬車両：ウイング
4 t タンクローリー	1 台	バキューム式
営業車	3 台	普通車（ハイブリッド車）
リフト	7 台	
油圧ショベル	1 台	
合計	13 台	

主要設備

名称	台数	備考
飼料化装置	1 基	投入コンベア・混合気・一次攪拌機・搬送用ポンプ・発酵槽
破碎・分別装置	2 基	

積替え保管施設

名称	保管面積	保管上限	備考
積替え保管場所	175.5 ㎡	438.75 ㎡	

III. 認証・登録の対象組織・活動

- 登録組織名： 株式会社イガ再資源
 対象事業所： 本社、西之澤工場
 活動： 産業廃棄物処分業（中間処理及び収集運搬）、飼料製造・販売業

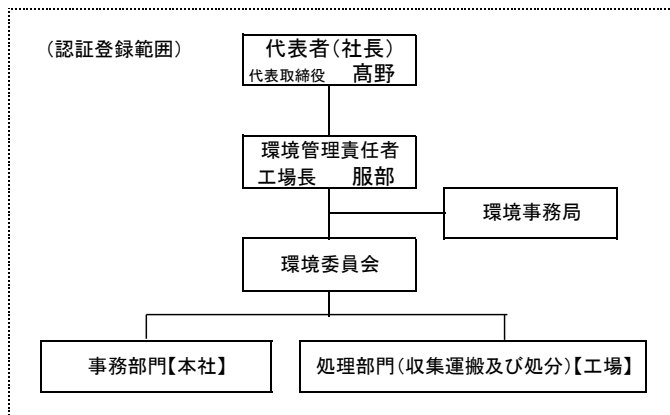
IV. 事業の紹介

当社は三重県下において、いち早く食品リサイクルに取り組んできました。
 2023年春から、当社グループ会社である株式会社トントンファームで製造される堆肥を使用し、協力農家による稲作の栽培を開始し完全な食品リサイクルループの実現に向けて取り組みを進めています。



V. 環境経営組織図及び役割・責任・権限表

[トップへ](#)



	役割・責任・権限
代表者(社長) 代表取締役 高野 丈大	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針を策定する。 EA21の実行に必要な資源を用意する。 環境管理責任者を任命する。 EA21の全体的な取り組み状況を評価し、見直し、必要な指示を行う。 社内情報の外部公開可否を決定する。 環境経営レポートの承認。
環境管理責任者 工場長 服部 太栄	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムを構築し、実施、管理、維持する。 環境E経営システムの構築・運用状況を社長に報告する。 環境活動レポートを取りまとめる。 環境委員会を開催する。 外部コミュニケーションの窓口。 緊急事態の想定と対策手順の決定、対応訓練の計画と実施。 環境に関連する業務の手順書の承認。
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者を補佐し、環境委員会の事務局を務める。 環境への負荷及び環境への取り組みの自己チェックを実施する。 環境目標・環境活動実施計画書の原案を作成する。 法規制等の登録簿を最新版にする為の情報入手と修正を行う。 全体的な検討・見直しの為に必要なデータを収集する。 環境に関連する業務の手順書の作成。
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> 毎月1回開催し、実施状況の確認・検討を行い、必要な措置をとる。
各部門 各担当長	<ul style="list-style-type: none"> 担当部門における環境経営システムを実施する。 担当部門における環境方針の徹底を図る。 担当部門の従業員に対する環境教育・訓練を実施する。 担当部門の環境活動計画の具体的な取り組み内容を実践し推進する。 担当部門の問題点の発見、是正、予防処置を実践する。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する。 決められたことを守り、自主的・積極的に環境保全活動に参加する。

VI. 許可の内容

一般廃棄物収集運搬・処分業の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	備 考
伊賀市内	伊第6-23号	令和6年3月28日	令和8年3月31日	業種分類: (2) 処分

産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類															
					汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	動植物性残さ	金属くず								
三重県	第02418121472号	令和3年3月1日	令和7年12月25日	有	○	○	○	○	○	○	○	○								
大阪府	第02700121472号	令和3年12月13日	令和8年12月12日	無	○	○	○	○	○	○	○	○								
京都府	第02600121472号	令和元年8月27日	令和11年7月16日	無	○	○	○	○	○	○	○	○								
滋賀県	第02501121472号	令和3年8月27日	令和8年7月27日	無	○	○	○	○	○	○	○	○								
兵庫県	第02804121472号	令和3年11月16日	令和8年11月15日	無	○	○	○	○	○	○	○	○								
愛知県	第02300121472号	令和4年6月10日	令和9年5月23日	無	○	○	○	○	○	○	○	○								
岐阜県	第02100121472号	令和3年9月13日	令和8年7月28日	無	○	○	○	○	○	○	○	○								
長野県	第 2009121472号	令和4年6月20日	令和9年6月19日	無	○	○	○	○	○	○	○	○								
岡山県	第03300121472号	令和3年10月17日	令和8年10月16日	無	○	○	○	○	○	○	○	○								

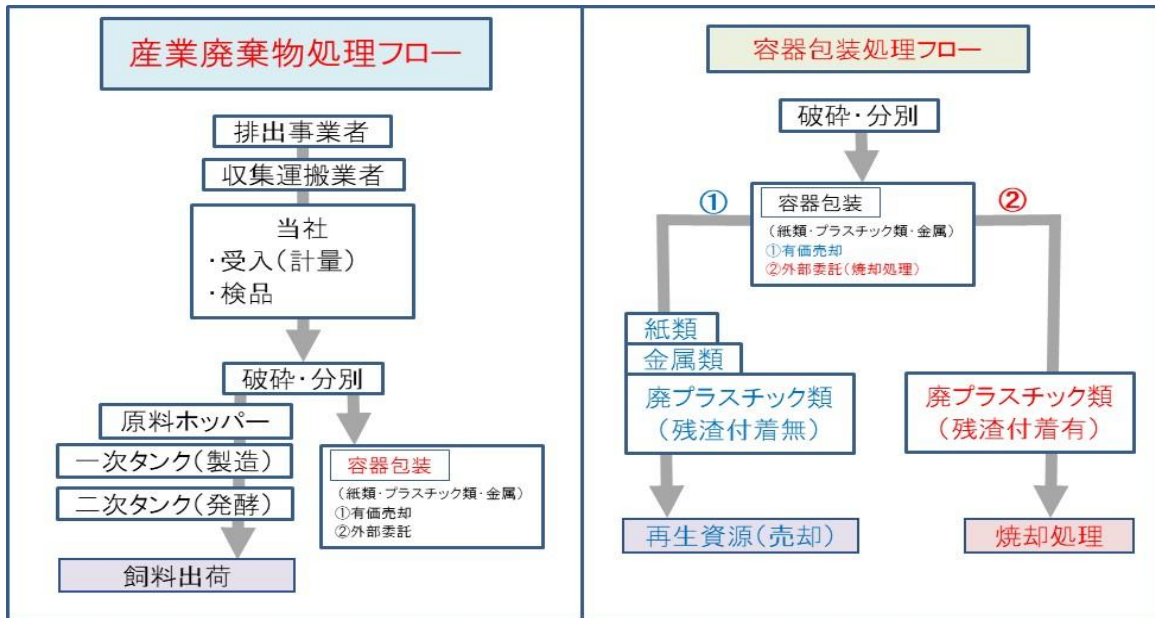
産業廃棄物処分許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	事業の範囲	廃棄物の種類																
					汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	動植物性残さ	金属くず									
三重県	第02428121472号	令和2年10月20日	令和7年9月6日	混合・発酵 <small>(飼料化)</small>	○	○	○	○	○	○	○	○									
				選別・破碎	○	○	○	○	○	○	○	○	○								

★許可申請中

処理能力	飼料化施設: 85t/日(10h) 破碎・選別施設4.8t/日(8h)2基
------	---------------------------------------

Ⅶ. 廃棄物処理フロー



Ⅷ. 廃棄物処理量と環境負荷の実績

項目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	206,180	128,623	110,982
受託収集運搬量	トン	1,400	1,104	493
受託中間処理量	トン	9,723	8,588	6,958
受託最終処分量	トン	0	0	0
廃棄物排出量(受託)				
産業廃棄物排出量	トン	556	645	485
廃棄物排出量(自社)				
一般廃棄物排出量	トン	0.194	0.193	0.178
水使用量	m ³	1,250	1,077	1,068

※二酸化炭素排出係数 0.42 kg-CO₂/kWh 関西電力の2022年度の調整後の係数
 ※化学物質の使用はなし。

Ⅸ. 環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値	2024年		評価	2025年 (目標)	2026年 (目標)
		(基準年)	(目標)	(実績)			
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	46,330	45,403	49,366	×	44,477	44,013
	基準年度比	2023年	98%	107%		96%	95%
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	3,608	3,536	1,755	○	3,464	3,428
	基準年度比	2023年	98%	49%		96%	95%
自動車燃料による二酸化炭素削減(ガソリン・軽油)	kg-CO ₂	78,685	77,111	59,860	○	76,324	75,538
	基準年度比	2023年	98%	76%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	128,623	126,050	110,982	○	124,265	122,979
一般廃棄物の削減	t	0.166	0.158	0.178	×	0.154	0.149
	基準年度比	2023年	95%	107%		93%	90%
再生可能廃棄物のリサイクル向上	t	485	242	381	○	252	262
	基準年度比	2023年	50%	79%		52%	54%
再生不可廃棄物の排出の削減(廃プラ:焼)	t	103	93	104	×	82	72
	基準年度比	2023年	90%	101%		80%	70%
食品廃棄物の再資源化率の向上 ※2	%	100%	100%	104%	○	100%	100%
	基準年度比	2021年	100%	104%		100%	100%
水道水の削減	m ³	697	662	1,068	×	641	627
	基準年度比	2023年	95%	153%		92%	90%
環境に配慮した収集運搬課題を解決しチャンスを活かす取組		行動目標 (次項による)					
		行動目標 (次項による)					

※リサイクル率は、加水の為100%を超えることがあります。

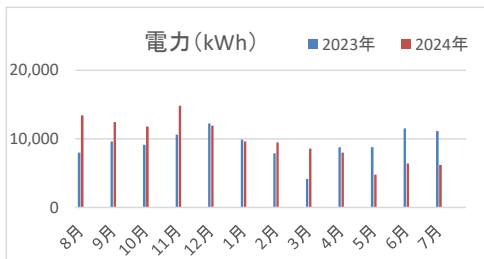
※2 受託した食品廃棄物と飼料販売数量の率

X. 環境経営計画の取組結果とその評価

[トップへ](#)

達成状況: ○達成 △一部未達成 ×未達成

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	環境経営目的の達成状況【×】
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	年間を通じて大型分別機の仕様頻度が多く、また夏季期間中は熱中症予防対策として休憩室の冷房を常に稼働しており従業員の体温冷却多作として使用したことで夏季の電力使用量が目標値を超過した結果となった。服装や水分補給などで調整できる範囲は引き続き努力していきたい。
・不要照明の消灯	○	
・節電プレートの掲示	○	
・空運転の防止	△	
・工程ロス削減による稼働時間の短縮	△	

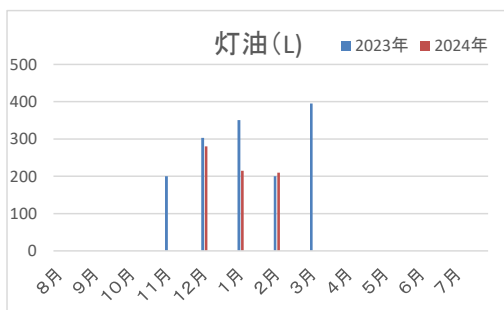


取組紹介欄



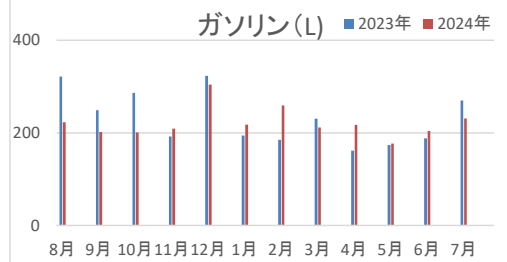
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
2023年	7,991	9,618	9,150	10,626	12,257	9,883	7,897	4,172	8,798	8,798	11,523	11,153	111,866
2024年	13,416	12,460	11,797	14,844	11,933	9,612	9,470	8,593	8,007	4,795	6,407	6,205	117,539

灯油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	環境経営の達成状況【○】
・設定温度の適正化	○	服装対策等により暖房器具の使用日数が少なかったことで目標を達成できた。引き続き服装などで調整できる範囲は引き続き努力していきたい。



	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
2023年	0	0	0	200	303	351	200	395	0	0	0	0	1,449
2024年	0	0	0	0	280	215	210	0	0	0	0	0	705

自動車燃料による二酸化炭素削減(ガソリン・軽油)		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		○	環境経営目標の達成状況【○】
・アイドリングストップの推進		○	外部委託による収集運搬を組み込むことで効率的な車両の運行により概ね目標値を達成できた。
・エコドライブの推進		○	
・効率的なルートで配送		○	

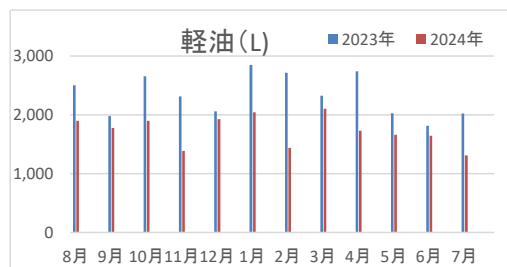


取組紹介欄



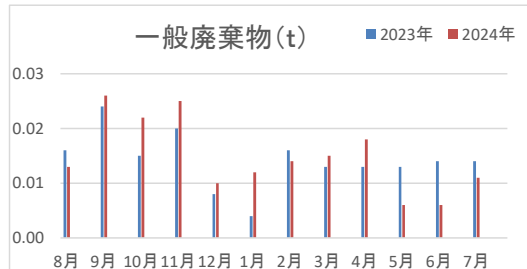
自動アイドリング
コントロール

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
2023年	321	249	286	192	323	194	185	230	161	174	188	270	2,774
2024年	223	202	201	209	304	218	259	211	217	177	204	231	2,655



	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
2023年	2,504	1,978	2,657	2,312	2,060	2,849	2,714	2,324	2,742	2,026	1,813	2,025	28,004
2024年	1,898	1,776	1,898	1,385	1,926	2,045	1,440	2,104	1,731	1,659	1,644	1,309	20,814

一般廃棄物の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		×	環境経営目標の達成状況【×
・分別の徹底		△	決算にあわせた廃棄が原因であることから、取引先に対して電子マニフェストの運用を推進するなどペーパーレス化を推進し廃棄物の削減に努めた。
・分別による、リサイクル化※再利用廃棄物		△	
・可燃ごみの削減		△	
・コピー用紙の裏紙使用		○	

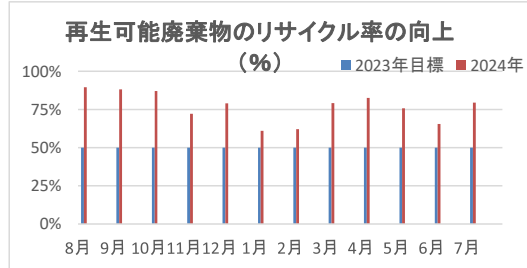


取組紹介欄



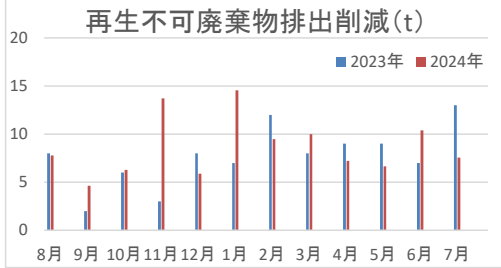
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
2023年	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.00	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.17
2024年	0.01	0.03	0.02	0.03	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.18

再生可能廃棄物のリサイクル率の向上		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		○	環境経営目標の達成状況【○】
・入荷物の選別・選択		○	今年度の目標は達成しているが、異物の混入等、処理不適切物の混入も見受けられることから排出事業者に対して分別の徹底等協力をお願いし、不要な廃棄物が発生しない努力を継続する。
・入荷物の梱包及び容器の確認		○	
・作業ミスによる廃棄物の削減		○	



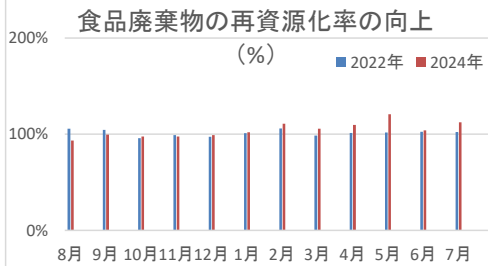
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
2023年目標	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	
2024年	90%	88%	87%	72%	79%	61%	62%	79%	83%	76%	66%	80%	

再生不可廃棄物の排出の削減(廃プラ:焼却)		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		×	環境経営の達成状況【×】
・ 入荷物の選別・選択		○	年々、容器類に入った廃棄物の処理が増加傾向にあり廃棄量の減量は難しくなってきている。廃プラ等の再利用処理についても年々取扱基準が厳しくなり、処分先の選定をやり直す必要も出てきている為、排出事業者に対して容器無での持込を依頼するなど
・ 入荷物の梱包及び容器の確認		○	
・ 作業ミスによる廃棄物の削減		○	



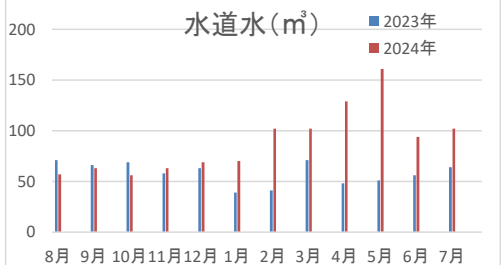
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
2023年	8	2	6	3	8	7	12	8	9	9	7	13	92
2024年	8	5	6	14	6	15	9	10	7	7	10	8	104

食品廃棄物の再資源化率の向上		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		○	環境経営の達成状況【○】
・ 作業ミスによるロスの防止		○	一部の排出事業者で特に外国人労働者とのコミュニケーション不足により処理不適合物の搬入があったものの、現在はその対策も機能しており年間の取り組みとしては目標を達成できた。
・ 加工によるロスの削減		○	
・ 再資源化（販売）先の開拓		○	



	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	平均
2022年	106%	104%	96%	99%	97%	101%	106%	99%	101%	102%	103%	102%	101%
2024年	93%	100%	98%	98%	99%	102%	111%	106%	110%	121%	104%	112%	104%

水道水の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		×	環境経営の達成状況【×】
・ 節水プレートの掲示		○	清掃頻度が増加したこと及び例年より降雨量がきわめて少なかったことにより清掃時の雨水の確保が困難となり多量の水道水を仕様したことが原因と思われる。次年度も引き続き水道水の使用量削減に努める。
・ 雨水の利用		○	



取組紹介欄



	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
2023年	71	66	69	58	63	39	41	71	48	51	56	64	697
2024年	57	63	56	63	69	70	102	102	129	161	94	102	1,068

環境に配慮した収集運搬	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・作業開始前の車両点検	○	環境経営の達成状況【○】 目標を達成できた。次年度についても左記活動を継続する。
・エコドライブの推進（燃料使用量は別項）	○	
・積み残しの削減	○	
・車両の清掃	○	

取組紹介欄

車両運行時は運行管理表に運行前の点検結果を記入し必要に応じてメンテナンスを行っている。
また、収集運搬時には効率と安全を考慮した配車を行い、ドライバーは無駄のないルート選定により運行している。

課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・事務所空調設備の更新	×	環境経営の達成状況【×】 昨年度事務所のエアコンを更新しており、今年度は更新予定はありません。

取組紹介欄

作業頻度と作業の危険性を考慮し予算調整の上、LED化を行っている。

XI. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	遵守評価
廃棄処理及び清掃に基づく法律 飼料安全性の確保及び品質の改善に関する法律	産業廃棄物の、保管基準・処理委託規準・管理票による管理・県条例に基づく事前協議・許可更新等 飼料の、安全性・飼料製造及び販売の届出	遵守 遵守
悪臭防止法	自主基準設定（規定地域にはなっていない）	遵守
食品リサイクル法	再生利用事業者内容の掲示、料金の届出公示及び、差別的取扱の禁止	遵守
フロン排出抑制法	業務空調機廃棄時、フロン類の適切な処理、回収・破壊の工程確認及び、フロン類使用機器の定期点検	遵守
自動車リサイクル法	廃棄時、引取業者への引き渡し	遵守
家電リサイクル法	廃棄時、引取業者への引き渡し	遵守
消防法	消火栓、消火器等の定期点検及び更新期間の確認	遵守
地域との協議・覚書	産業廃棄物処理及び清掃に基づく法律の厳守	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

XII. 緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 労働災害の発生	
■実施日： 2025年1月25日（水）	■実施場所（株イガ再資源 事務所）
■参加者： 9名	■実施内容： ・リスクアセスメントの実践
■実施状況の様子 及び 結果	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
<p>【リスクアセスメント勉強会】 講師：服部太栄 講習内容： リスクアセスメントの基本手順と実践 使用マニュアル： リスクアセスメント勉強会資料</p>	
  	
<p>訓練のポイント</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 危険性の特定 2. 危険性又は有害性ごとのリスクの見積り 3. リスク低減優先度の設定およびリスク低減措置の内容検討 4. リスク除去又は低減措置の実施 	
<p>訓練のまとめ 今後、全従業員がこの講義で話し合った内容を意識しながら働き、危機管理意識を持つこと、お互いコミュニケーションを取り合える環境にしていくことが大切だと学んだ。「ほう・れん・そう」をしっかりとる。</p>	

XⅢ. 代表者による全体の評価と見直し・指示

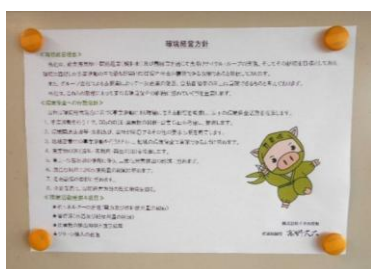
代表取締役 高野 丈大 実施日：2025年9月1日

今年度の取り組みについては概ね目標を達成できているが、水道水の使用量については天候に左右されることも多く、清掃時の水の確保が課題となり引き続き清掃方法等についても検討を続ける必要がある。また、電気の使用量についても、今年6月より事業者による熱中症対策が義務化されたことにより、夏季期間中の従業員の身体の冷却対策として、熱中症警戒アラートが発表された日の営業時間中は、休憩室のエアコンを常時運転し対策を行うため、電気使用量が増加傾向にあるが、可能な限りエアコンの効率的な仕様が心掛ける。収集運搬については、社外の運搬業者に外部委託するなど空荷状態での走行を極力無くし、引き続き効率的な運行を実施する。

- | | | |
|-----------|--|-------------------------------|
| 環境経営方針 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |
| 環境経営目標・計画 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |
| 実施体制 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |

XⅣ. 環境活動の紹介

エコアクション21 掲示板



美化活動 草刈り



美化活動 ゴミ拾い



CO2 を食べる自動販売機 設置



CO2 を食べる粉末が箱の中に入っている。

XⅤ. 編集後記

今年度の実績は降雨量が例年と比較して極端に少なく、工場内の清掃時に水道水を多量に使用したこと、また排出事業者から搬入される廃棄物の種類も容器により個包装された物が増加したことから廃プラ等の再生不可廃棄物が増加した。清掃用の水の確保については天候に左右されることから次年度も清掃方法を変更するなど引き続き努力する。廃プラ等の廃棄物については、排出事業者とも協議し、減量につとめた。